

いちよう 12月号



【創立150周年記念式典を終えて】11/22

ウオークラリーで始まった記念行事も、この式典がフィナーレとなりました。たくさんご協力をいただきありがとうございました。学校を代表して5・6年生が総合的な学習の発表を行いました。警察音楽隊の演奏も好評でした。

*6年生発表「藤岡町に生きる」

藤岡町で高齢者のために活動するボランティア団体があることを知り、ともに活動に参加させていただき、ボランティアの方にインタビューもしました。藤岡町は、みんなが笑顔になれるように、互いに協力して支え合う素敵な町だということ、そしてそのバトンをずっと受け継いでいけるように自らも行動することの大切さに気づくことができました。

*5年生発表「われら渡良瀬探検隊」

藤岡の宝ともいえる渡良瀬遊水地での2回（6月と10月）に渡るフィールドワークを通して、自然環境を守る大切さと、そのために自分たちに行えることがあることを学びました。フィールドワークでは、6班（昆虫・植物・野鳥・歴史・治水・水質）に分かれ、「渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団」の専門家の皆様のお世話になりました。

福祉の問題も環境問題も、子どもたちが向き合っ考え行動すべき重要な課題であり、体験を通してそれを実感できたことの意義を感じ、地域の皆様のご協力に深く感謝しております。

【児童表彰】

*栃木市青少年問題協議会模範児童表彰

*****さん (6-1)

*****さん (6-2)

*下都賀地区教育振興大会模範児童表彰

*****さん (6-2)

6年間の積み重ねの成果としての表彰です。
おめでとうございます。

【人権週間 11/27-12/1】

標語作成、道徳の授業等を通して、いじめや自分以外の人を大切にするということについて考えました。今後も、児童・職員とも人権意識を高めていきたいと思っています。クラス代表の標語を掲載します。

◆あいてのことを かんがえて ころどうしたいです。
(1-1)****

◆だいじょうぶ こまったときは たすけるよ
(2-1)****

◆わたそうよ えがおのバトン ありがとう
(3-1)****

◆思いやり ころやさしさ 大切に (4-1)****

◆いじめはね 心のきずに 残るもの(4-2)****

◆一言で 心と笑顔の 支えになる (5-1)****

◆その言葉 本当に言っても 大丈夫?(5-2)****

◆幸せの輪 やさしい言葉で できていく
(6-1)****

◆思いやり その行動で 笑顔咲く (6-2)****

【学校保健委員会を実施して】11/15

題 「考えよう生と性 ～自分を大切に～」

講師 栃木市健康増進課 保健師の皆様

5・6年生の児童と保護者を対象に「思春期のころとからだの変化」と「命の大切さ」についてお話いただきました。（ほけんだより11月号にも関連記事掲載）保護者の皆様の参加が少なかったため概要を掲載します。お子さまと話題にしてみてください。

*思春期とは

からだの成長が著しく、ころのバランスも不安定になりがちな時期で、悩んだりイライラしたり不安になったりすることは、ごく自然なことです。不安なときは、自分の言葉で誰か信頼できる人に自分の気持ちを伝えられるといいですね。

*プライベートゾーン

からだの変化は男女で特徴がありますが、変化の時期や度合いは個人差があり、人と違って「自分はおかしいのではないか」と考える必要はありません。水着で隠れる部分は、自分だけの大切なところ（プライベートゾーン）で、他の人のプライベートゾーンを見たり触ったりしません。

*自分を大切に

母親の胎内で受精卵から赤ちゃんとして誕生するまで育まれること。誕生してからこれまでたくさんの愛情を受け、今の自分があること。「自分の命を大切に」というメッセージを受け取りました。思春期は自分のことが嫌いになることもありますが、心に刻んでほしいと感じました。

学校行事はHPでチェック!!ご覧ください。

<https://tm2.tcn.ed.jp/fujiokasyo-tea/>
持久走大会・学年PTA（藤郎マグネットづくり）・とちうらひ等